

第6次川崎町長期総合計画に関するアンケート調査（概略版）

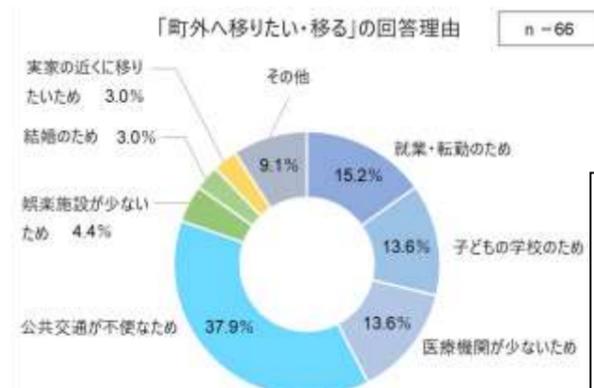
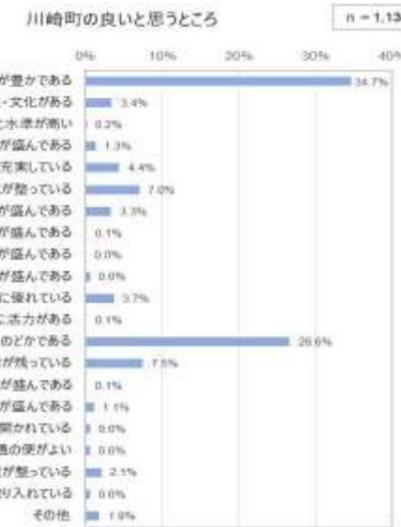
令和2年7月～8月において、川崎町に居住する18歳以上の町民1,600人を対象に実施。（配布件数：1,600件、回収件数：467件、回収率：29.2%）



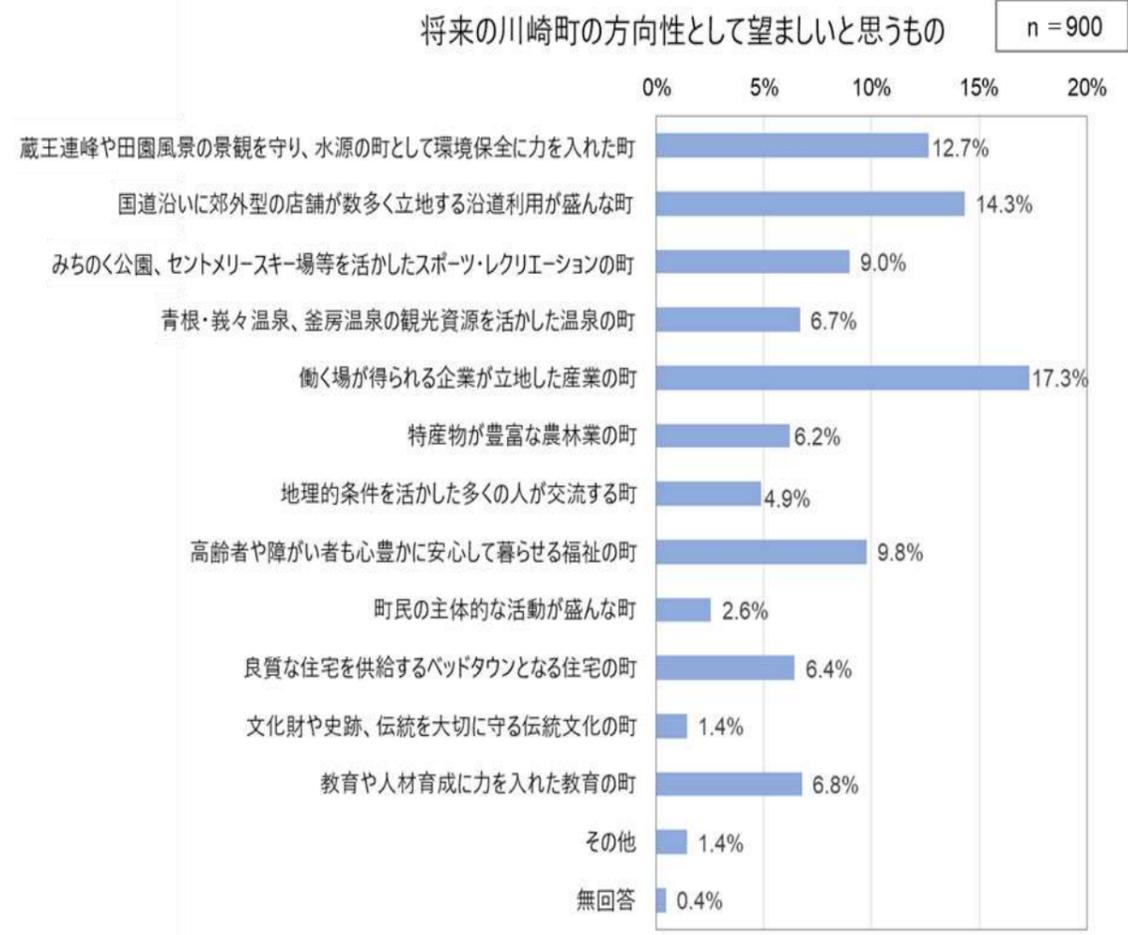
職業は、「会社員（事務、販売、飲食、サービス業）」(22.3%)、「会社員（製造業、鉱業、建設業）」(21.6%) がほぼ同じ比率となり、「パート、アルバイト等」(15.8%) が続いています



勤務地・通学先等は、「川崎町内」が最も多く(31.3%)、次いで「自宅」(13.9%)、「大河原町・柴田町・村田町」(10.5%) となっています。



「十分推進されていると思う」の回答が最も多かった施策は、「子育て支援の充実」(24.4%)、次いで「健康づくりの推進」(19.1%)、「子ども達の育成」及び「自然環境の維持・保全」(各15.8%) となっています。「推進されているとは思えない」の回答が最も多かった施策は、「商業の振興」(32.1%)、次いで「工業の振興」(29.6%)、「計画的な土地利用」(28.1%) と、商業や産業等の分野が挙がっています。

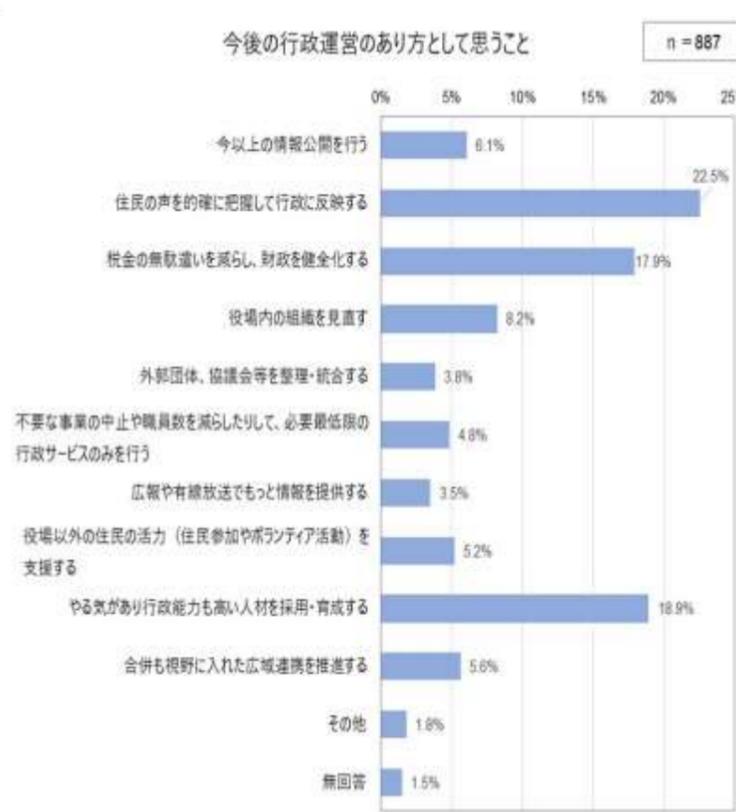


将来の川崎町に望むものとして、「働く場が得られる企業が立地した産業の町」の回答が最も多く(17.3%)、次いで「国道沿いに郊外型の店舗が数多く立地する沿道利用が盛んな町」(14.3%) となり、企業や商業店舗の立地が主に挙がっています。また、「蔵王連峰や田園風景の景観を守り、水源の町として環境保全に力を入れた町」は12.7%となり、自然資源の保全を図ることも重要なものとして挙がっています

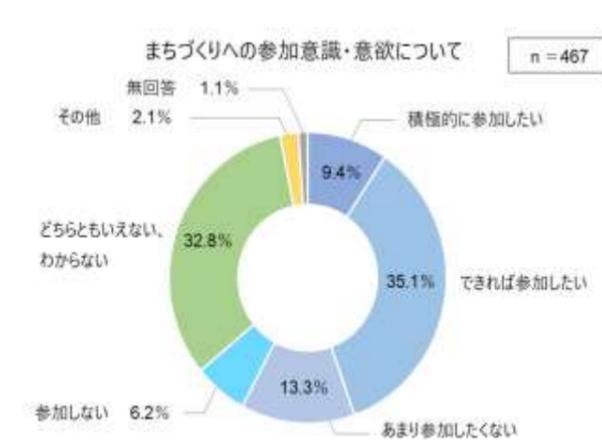
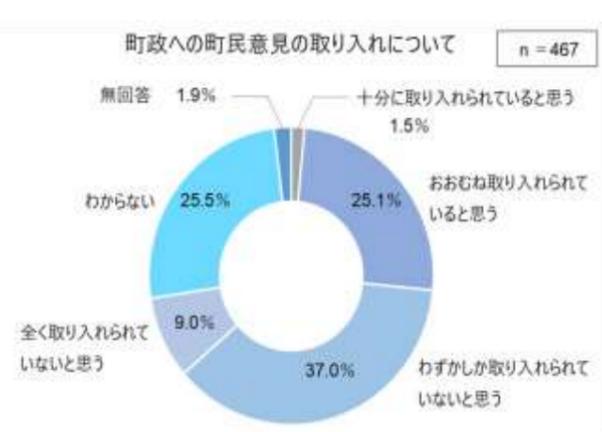


特に力を入れた方が良いと思うこととして、「医療施設の充実」が最も多く（8.8%）、次いで「国道や県道の整備」（8.5%）、「バス路線の確保」（7.4%）となっています。また、産業・観光分野の意見も概ね3～6%と一定の割合を占めています。

町の魅力を高め、観光を振興していくために重点を置いて取り組んだ方が良いと思うこととして、「道の駅や観光物産館のような拠点の充実」の割合が最も高く（29.3%）なっています。次いで、「自然観察や街並み等の景観整備」（9.4%）、「音楽やスポーツイベントなどの誘致」（9.0%）となってい



今後の行政運営のあり方の回答として、「住民の声を的確に把握して行政の反映する」が最も多く（22.5%）、次いで「やる気があり行政能力も高い人材を採用・育成する」（18.9%）、「税金の無駄遣いを減らし、財政を健全化する」（17.9%）となっています。



自由意見

| 番号 | 区分 | 年齢 | 内容 |
|----|------|-----|--|
| 1 | 生活 | 40代 | 母子家庭の生活をもう少し安定させてほしいです。0～12歳まではあまり金銭的にはかかりませんが、中学校、高校に進学に進むにつれ、お金はかかっています。母子家庭は、お金がたくさん頂けると思っている人もいますが、子供が2～4人となると仕事も掛け持ちしないと生活が出来ません。 |
| 2 | 生活 | 40代 | のどかで、いい土地です。30年ほど仙台市内で生活していましたが、山林や自然豊かな川崎に帰ってきて、心身ともに、健康をとりもどしつつあります。交通の便が悪いのは、ネックになると思いますが、少々、職場から遠くても、川崎町で生活したいと思えるような、安心して生活ができ、老いてもこの土地で安心して生きていける町になれば、とてもありがたいです。 |
| 3 | 定住 | 40代 | 町民が町外に移住しない町づくり、又、町外から町内に移住する町づくり 衣・食・住の環境が活性化している町づくり、核家族化や少子化問題についても、家族が増える町づくりが必要だと思います。 |
| 4 | 交通 | 30代 | 交通の便が悪く将来、子供が高校へ行くのが不便で親による送迎が必要になり、負担が大きくなる。 |
| 5 | 観光 | 30代 | 他都市からの来町者数と、町での支出額がみあっていない気がする。もっと町民が、簡単にそのような機会をつくれる場所を早急につくるべき。アウトドアレジャー人気が高いうちに、町の色を、都市圏より若年層が来やすいように、ブランディングすべきだと思います。 |
| 6 | 企業誘致 | 50代 | 宮城と山形への交通アクセスの良い宮城川崎IC近郊にトヨタ工場系列を誘致して就業人工を増し定住を図る。 |
| 7 | 子育て | 30代 | 幼稚園の預かりも、冬休み、夏休みも実施してもらえると、働きやすくなり助かります。 |

| 番号 | 区分 | 年齢 | 内容 |
|----|----------|-----|---|
| 8 | 交通 | 20代 | 公共の交通機関がバスしかないため、高校進学時など、通うのが大変だった。同じようにバスしか通う手段がなく、本数も少ないので進学先の選択が限られてしまう学生も少なくないと思う。 |
| 9 | 農業 | 60代 | 田んぼを家族が作っていますが、いのしし、熊さると、自然の動物園です。電柵をしたり、草刈りをしたりととても手がまわりません。 |
| 10 | 道路 ゴミ | 30代 | 歩行者や自転車などの交通弱者が、安全安心して移動できるように道路環境の維持や整備。 ゴミの不法投棄やポイ捨てをなくす為、モラルの向上やゴミ箱の設置カメラなどの設置 |
| 11 | 観光 道路 | 50代 | 仙台市から山形への通りすがりの町ではなく 仙台市から川崎町へ、山形県から川崎町へと、川崎町に車を止めてもらうような、何か分からないのですが そのような川崎町に出来ないものかと思えます。山形からは笹谷トンネルがあるよう、仙台から286号の整備（碓石 赤石間）が早く出来るよう願います。 |
| 12 | 他 | 40代 | 町の課題は、少子高齢、人口減少、町内での就業が難しく、就業、生活の為に学校卒業と共に、町を離れる人が多い。農林業、季節限定の観光に頼るには限界がある。若者が町に残る為には、様々な業態、業種の企業誘致、就業先の確保が重要だと思う |